

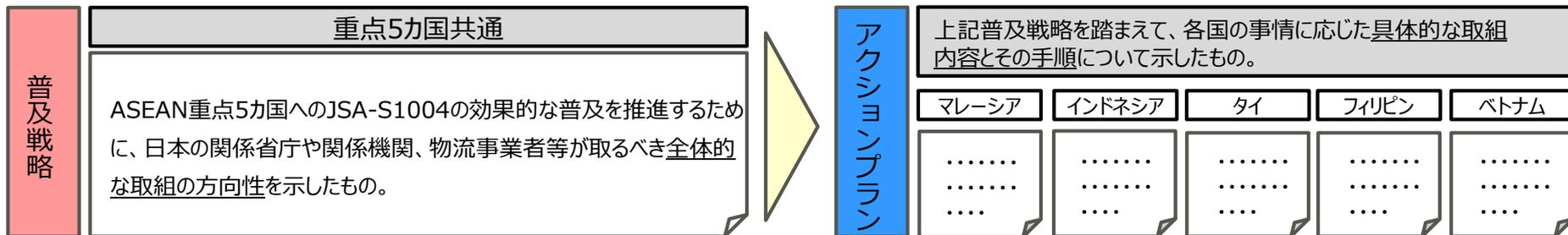
重点 5 カ国におけるアクションプラン の取組状況について

国土交通省
物流・自動車局
国際物流室

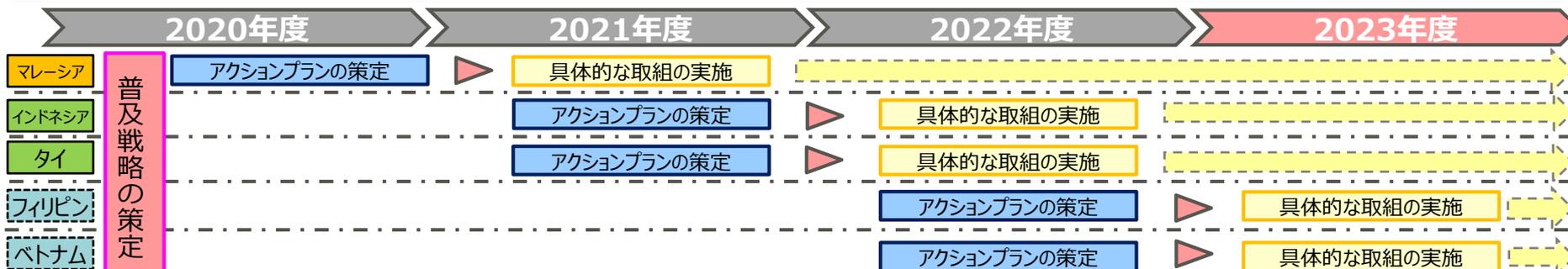
JSA-S1004の普及に向けた取組

- JSA-S1004のASEAN各国への普及を推進するため、2020年度より**国内検討委員会**を設置し、**包括的な普及戦略**及び**国別のアクションプラン**の策定に向けた議論を開始。
- 普及戦略及びアクションプランに基づき、**ASEAN重点5か国（マレーシア・インドネシア・タイ・フィリピン・ベトナム）**へ本規格の普及に向けた具体的な取組を実施。
- ASEANにおける**コールドチェーン物流サービスの品質向上**を図る中で、**我が国物流事業者の競争優位性の確保・海外展開の促進**を目指す。

目指すアウトプット



スケジュール



- 日ASEAN交通連携の枠組みの下、ASEAN各国の物流担当の行政官との間で、物流に関する取組について意見・情報交換を行う「日ASEAN物流専門家会合」を2003年より定期的に開催。
- 第19回会合（2023年3月開催）では、**ASEANにおける質の高いコールドチェーン物流**、物流サービスの向上に繋がる物流人材育成及び環境に優しいグリーン物流の促進に向けた各種取組み等について情報交換を実施。

開催日程

- 2023年3月7日（火）（WEB会議）

出席者

- 合計93名

【日本側】国土交通省、物流事業者（株）日立物流（（現）ロジスティード（株））

【ASEAN側】ブルネイ、カンボジア、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの政府関係者、ASEAN事務局



主な内容

（コールドチェーン物流の促進に関する取組について）

- **ブルネイ**より、2020年に政府全体で物流改善を議論するために設置したタスクフォースにおいて、日ASEANコールドチェーン物流ガイドライン（以下、ガイドライン）をベースとした**国家規格化に向けた議論を引き続き推進**していく旨報告があった。
- **カンボジア**より、ガイドラインをベースとした国家規格化や認証体制の整備等について記載した**アクションプランを2022年に策定**し、同アクションプランに基づく取組みとして、**2023年にワークショップの開催を検討**しているとの報告があった。
- **マレーシア**より、2025年までにガイドラインをベースとした国家規格の策定に向けて、**TC315の議論へ積極的に参加**していく旨報告があった。
- **フィリピン**より、国家規格策定の役割を担う貿易産業省傘下の製品標準局等と連携し、**TC315への参画を検討**する旨報告があった。

（物流人材育成について）

- 国土交通省より、ラオス及びベトナムにおける大学生及び行政官等を対象に実施した物流人材育成事業について報告するとともに、マレーシアへの拡大について提案し、来年度の実施に向けて協議していくことでマレーシアと合意した。

フィリピンとの二国間対話の開催(案)

趣旨・狙い

- 両国の物流政策について情報共有を図る。
- フィリピンにおけるコールドチェーン物流サービス規格の普及に向けた具体的な取組状況について確認する。
- 日系事業者が現地で直面している物流課題等の改善に向けた働きかけを行う。

政策対話の構成案

※調整中

| 開催日 | 2024年1～2月(2～3時間程度) | 主な議題案 | |
|------|--------------------------------------|-------|--|
| 開催都市 | マニラ(対面開催) | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 両国における物流施策及び物流課題について(60分程度) <ul style="list-style-type: none"> • 日本の物流政策の紹介(総合物流施策大綱等) • 日系事業者が現地で直面している物流課題等について • フィリピンの物流政策の紹介 等 |
| 出席者 | 【フィリピン】 運輸省、港湾庁、貿易産業省、農業省、投資委員会 等 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○ フィリピンにおけるコールドチェーン物流サービスについて(60分程度) (例) <ul style="list-style-type: none"> • コールドチェーン物流サービスの現状、振興策 • JSA-S1004を基にした国際規格の発行を見据えた国家規格の策定 • 山間部から大都市圏への農産物コールドチェーン物流サービスの構築 • 大都市圏内における高級商材向けの高品質なコールドチェーン物流サービスの構築 等 |
| | 【日本】 国土交通省、在フィリピン日本大使館 等 | | |

フィリピンにおけるコールドチェーン物流ワークショップの開催(案)

趣旨・狙い

- フィリピンにおいてコールドチェーン物流サービスに関心のある荷主企業や物流事業者が、日系物流事業者や物流機器メーカーが提供するコールドチェーン物流サービスについて知るとともに、両者をマッチングさせる機会を提供するため、商談会を開催する。

ワークショップの構成案

※調整中

| 開催日 | 2024年1～2月(2～3時間程度) | 主な内容案 | |
|------|---|-------|---|
| 開催都市 | マニラ(対面開催) | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日系事業者によるピッチトーク <ul style="list-style-type: none"> ・ 日系物流事業者や物流機器メーカーが壇上に立ち、自社の提供するコールドチェーン物流サービスをフィリピンの荷主企業や物流事業者等に知っていただくため、1社5～10分程度で紹介する。 |
| 出席者 | <p>【フィリピン】 物流事業者、荷主企業、コールドチェーン協会、運輸省、港湾庁、貿易産業省、農業省、投資委員会、食品医薬品局 等</p> <p>【日本】 物流事業者、物流機器メーカー、物流関連団体、国土交通省、認証機関 等</p> <p>※事前にフィリピン側の企業ニーズを把握し、日系企業の参加者や紹介内容の選定に反映させる。(コールドチェーン物流サービス以外の物流サービスも対象とする可能性あり。)</p> | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○ コールドチェーン物流サービスに関する商談会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会場に各日系企業(物流事業者、物流機器メーカー)のブースを設置し、事業紹介資料を用意するとともに、担当者が対応する。(5～10社程度の出展を想定) ・ フィリピン企業(荷主企業、物流事業者等)は、関心のある日系企業のブースを回り、商品・サービスの説明を受けたり、自社の物流上の課題について相談したりすることができるようにする。 |

ベトナムとの二国間対話の開催(案)

趣旨・狙い

- 両国の物流政策について情報共有を図る。
- ベトナムにおけるコールドチェーン物流サービス規格の普及に向けた具体的な取組状況について確認する。
- 日系事業者が現地で直面している物流課題等の改善に向けた働きかけを行う。

政策対話の構成案

※調整中

| 開催日 | 2024年1～2月(2～3時間程度) | 主な議題案 | |
|------|--|-------|---|
| 開催都市 | ハノイ(対面開催) | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 両国における物流施策及び物流課題について(60分程度) <ul style="list-style-type: none"> • 日本の物流政策の紹介(総合物流施策大綱等) • 日系事業者が現地で直面している物流課題等について • ベトナムの物流政策の紹介 等 |
| 出席者 | 【フィリピン】 交通運輸省、産業貿易省、農業農村開発省、ベトナム認定局 等 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ベトナムにおけるコールドチェーン物流サービスについて(60分程度) (例) <ul style="list-style-type: none"> • コールドチェーン物流サービスの現状、振興策 • JSA-S1004を基にした国際規格の発行を見据えた国家規格の策定 • 長距離における小容量コールドチェーン物流サービスの構築 • 大都市圏内における小口・多数の配送先へのコールドチェーン物流サービスの構築 等 |
| | 【日本】 国土交通省、在ベトナム日本大使館 等 | | |

ベトナムにおけるコールドチェーン物流ワークショップの開催(案)

趣旨・狙い

- ベトナムにおいてコールドチェーン物流サービスに関心のある荷主企業や物流事業者が、日系物流事業者や物流機器メーカーが提供するコールドチェーン物流サービスについて知るとともに、両者をマッチングさせる機会を提供するため、商談会を開催する。

ワークショップの構成案

※調整中

| 開催日 | 2024年1～2月(2～3時間程度) | 主な内容案 | |
|------|--|-------|--|
| 開催都市 | ハノイ(対面開催) | 1 | ○ 日系事業者によるピッチトーク <ul style="list-style-type: none"> 日系物流事業者や物流機器メーカーが壇上に立ち、自社の提供するコールドチェーン物流サービスをベトナムの荷主企業や物流事業者等に知っていただくため、1社5～10分程度で紹介する。 |
| 出席者 | 【ベトナム】 物流事業者、荷主企業、 ベトナム・ロジスティクス・ビジネス協会、 交通運輸省、産業貿易省、農業農村開発省、 ベトナム認定局 等 【日本】 物流事業者、物流機器メーカー、 物流関連団体、国土交通省、認証機関 等 ※事前にベトナム側の企業ニーズを把握し、 日系企業の参加者や紹介内容の選定に反映させる。 (コールドチェーン物流サービス以外の物流サービスも対象とする可能性あり。) | | 2 |

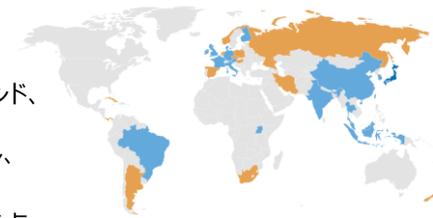
- **BtoB分野におけるコールドチェーン物流サービス規格であるJSA-S1004の国際標準化を推進するため、日本は2021年1月に新たな技術委員会(TC315:Technical Committee)の設置をISOへ提案し、2021年1月に正式に承認された。**
- 2021年12月、日本が提案した**JSA-S1004をベースとした国際規格の開発**が、TC315参加国による投票により**可決**された。2022年2月にTC315内に設置されたワーキンググループにおいて、**規格発行に向けた議論を進めている**。

TC315について

- ◆ **委員会名：Cold Chain Logistics**
幹事国：日本
議長：根本 敏則（敬愛大学経済学部教授）
- ◆ **参加国：** Pメンバー20か国、Oメンバー13か国
※Pメンバー：投票権あり、Oメンバー：投票権なし（オブザーバー）

<TC315 Pメンバー>

オーストリア、ブラジル、中国、
デンマーク、フィンランド、フランス、
ドイツ、インド、インドネシア、アイルランド、
イタリア、日本、韓国、マレーシア、
オランダ、サウジアラビア、シンガポール、
タイ、ウガンダ、イギリス



※2023年11月1日時点

国内体制について

- ◆ **国内審議委員会：**
委員長：森 隆行（流通科学大学名誉教授）
委員：国交省、経産省、農水省、厚労省、物流連、
JILS、日本倉庫協会、日本冷蔵倉庫協会、
日本物流システム機器協会、日本海事協会、
日本冷凍空調工業会、日本通信販売協会、
物流事業者、物流機器メーカー 等
- ◆ **戦略委員会(コアメンバー)：**
国交省、経産省、物流連、日本海事協会、
ニチレイロジグループ本社、郵船ロジスティクス、
ヤマト運輸、日新
- ◆ **事務局：** 日本規格協会

各国による規格開発提案

- 日本：**
BtoB分野におけるコールドチェーン物流サービス(JSA-S1004)
- 中国：**
非接触物流、トレーサビリティ
- 韓国：**
温度管理のための包装・車両・保管に関する評価・管理

<今後の予定>

- | | |
|--------------|--------------------------|
| ～2024年1月 | 規格発行に向けた投票 |
| 2023年2月、3月 | 国内審議委員会 WG |
| 2024年12月（想定） | JSA-S1004をベースとするISO規格の発行 |